



九州防衛局  
総務部発行

福岡市博多区博多駅東  
2丁目10-7

福岡第二合同庁舎内  
電話 092-483-8813



陸自目達原飛行場の壁画（地元生徒制作）

（写真提供：吉野ヶ里町）

### 主な内容

局新幹部の紹介等 .....	2
感謝状 .....	3
築城進入管制区の拡大 .....	3
当局の補助金業務 .....	4
寄稿 .....	4
米軍の行為に係る損害賠償手続き .....	5
局人事異動及び主要職員名簿 .....	6~7
局組織図 .....	8

# 九州防衛局

※九州防衛局ホームページ

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



## 防衛省

MINISTRY OF  
DEFENSE

### 局新幹部の紹介

三月三十一日付けで杉村管理部長が退職しました。

後任の管理部長には横山調達部次長が、調達部次長には中村調達部調達計画課長が、また、三浦会計監査官が小倉防衛事務所長に転任し、後任の会計監査官には伊波防衛省大臣官房秘書課部員が四月一日付けでそれぞれ発令されました。



会計監査官  
伊波 慎一

昭和五十六年四月 防衛施設庁  
\*  
昭和三十四年生まれ

平成十九年九月 大臣官房  
\*  
秘書課部員

平成二十年四月 現職



管理部長  
横山 博幸

昭和四十七年四月 防衛施設庁  
\*  
昭和二十三年生まれ

平成十九年九月 九州局調達部次長  
\*  
平成二十年四月 現職



調達部次長  
中村 能昭

昭和五十一年十月 防衛施設庁  
\*  
昭和二十六年生まれ

平成十九年九月 九州局調達部  
\*  
調達計画課長  
平成二十年四月 現職

### 新規採用者等の紹介

今年度も四名が当局職員の仲間入りをしましたので、紹介します。局職員はじめ関係機関の方々のご指導をよろしく願います。

四月一日付



総務部契約課  
池田 省吾



企画部防音対策課  
梶原 則明

九州農政局福岡農政事務所から



管理部施設取得課  
白石 隆一

九州農政局福岡農政事務所から



別府防衛事務所  
伊南 隆一

九州農政局大分農政事務所から

### お疲れさまでした

長年、防衛行政に携わってこられた次の方々が、当局を最後に退職されました。

これからも益々ご健勝でご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

三月三十一日付

杉村健二(昭和四十一・四・一採用)  
管理部長

弓削幸弘(昭和四十一・四・一採用)  
小倉事務所長

大石 毅(昭和四十一・四・一採用)  
佐世保事務所長

柿原博次(昭和四十七・三・二十七採用)  
企画部周辺環境整備課長

堀 高志(昭和四十七・四・一採用)  
企画部防音対策課長

寺崎清範(昭和四十七・四・一採用)  
企画部住宅防音課長

増田俊和(昭和四十一・四・一採用)

管理部業務課長

姉川陽一(昭和四十五・五・十六採用)

管理部施設補償課長

友永良孝(昭和四十五・五・十六採用)

管理部施設取得課長

上森義人(昭和四十五・四・一採用)

総務部会計課

大長道夫(昭和四十三・四・一採用)

企画部地方調整課

樋口眞次(昭和四十五・五・十六採用)

企画部住宅防音課

山口公一(昭和四十二・三・一採用)

管理部業務課

多久島保幸(昭和四十一・四・一採用)

管理部施設補償課

江川賢二(昭和四十六・四・一採用)

管理部施設取得課

市原孝行(昭和四十六・四・一採用)

熊本支局業務課

江本吉隆(昭和四十八・七・二十三採用)

小倉事務所施設課

東明茂春(昭和四十六・七・一採用)

総務部会計課

永松岩雄(昭和四十六・四・一採用)

管理部施設管理課

中村亮介(昭和四十七・六・十六採用)

管理部施設管理課

早川 至(昭和六十三・十一・一採用)

佐世保事務所業務課

中澤 茂(昭和四十二・四・一採用)

調達部建築課

北原徹二(平成十七・四・一採用)

調達部設備課



**在日米海軍佐世保基地  
司令官に感謝状贈呈**

在日米海軍佐世保基地司令官ティルマン・D・ペイン大佐の転任に当たり、同氏の在任中の功績に謝意を表するため四月四日、局長から感謝状を贈呈しました。

ペイン大佐は、平成十七年四月に就任以来、佐世保地区における防衛施設行政に関連する諸問題の解決に尽力され、日米両国の友好関係の増進に寄与されました。

**築城進入管制区(築城ゾーン)の拡大について**

航空自衛隊築城管制隊が国土交通大臣からターミナルレーダー管制業務を委任されている築城進入管制区(築城ゾーン)が平成二十年三月十三日から拡大され、民間の新北九州空港及び山口宇部空港と、航空自衛隊防府飛行場及び海上自衛隊小月飛行場を含むエリアのレーダー管制業務を実施することになりました。

拡大されたエリアでは、従来より国土交通省によるターミナルレーダー管制が行われていなかったことから、両民間空港の離発着便は、同じ時間帯に出発機・到着機がある場合、一方の航空機は待機する必要があるため、平成十八年三月の新北九州空港の開港による航空交通量の増大により遅延が慢性化していました。このため国土交通省は、両民間空港の遅延対策としてターミナルレーダー管制業務の実施が必要であると判断したが、同省には当該空港周辺空域を管制できるレーダーが無いことから、現有のレーダーで当該空域の管制業務が実施可能な航空自衛隊築城管制隊にレーダー管制業務を委任したい旨を当省に申し入れていました。

当省としては、一般の進入管制区拡大により、新北九州空港及び山口宇部

空港を離発着する航空機の遅延を改善するとともに、航空自衛隊防府飛行場及び海上自衛隊小月飛行場も含む周辺

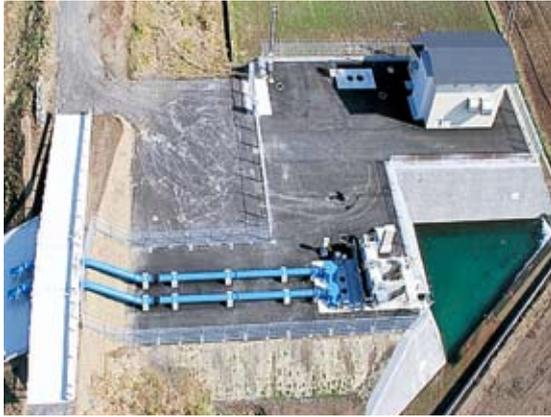
空域の航空交通の安全性・効率性の向上に寄与できるものと考えています。



**拡大概要図**

当局的補助金業務について

平成十九年度までに鹿児島県内において完成した施設のうち、その一部をここに紹介します。



事 案 名：霧島演習場周辺障害防止対策事業（桶寄川洪水対策）  
補助事業者：湧水町  
コメン ト：霧島演習場の荒廃裸地化に伴う洪水量の増加により、下流域の家屋等に洪水被害を与えていますので、これを防止・軽減するため、排水機場を設置しています。

事 案 名：鹿屋飛行場関連公共施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：鹿屋農工団地第2公園）整備事業  
補助事業者：鹿屋市  
コメン ト：地域住民のレクリエーションのための施設を整備しています。



事 案 名：霧島演習場周辺道路改修等（風呂元線外2）事業  
補助事業者：湧水町  
コメン ト：自衛隊車両との離合の困難を解消し、周辺住民の皆様の利便性を図っています。

寄稿

「竹松駐屯地新食厨の紹介」

竹松駐屯地業務隊 補給科糧食班長  
准陸尉 原 田 慶 一

平成二十年一月二十二日、竹松駐屯地の新食厨が、多くの関係各位の尽力のお陰で落成の日を迎え、運用を開始しました。

落成式には、所在隊員を始め、部内外の来賓をお迎えし盛大な式典を挙行、新食厨の門出をお祝いして頂きました。

新食厨について簡単に概要をご紹介しますと鉄骨平屋建ての床面積約一、〇〇〇平方メートルを有し、建物の形状は駐屯地主力部隊の第七高射特科群が装備するホークミサイルをイメージし、大村湾方向上空からの敵機を迎え撃つ態勢をデザイン化したもので、屋根に勾配を設けた形状とモニユメントが第一の特徴です。

次に、大村湾を眺めて食事をするハーバービューレストランをコンセプトに食堂を西側に設けたのが第二の特徴で、内部設備も新厨房器材・食堂用備品や新型のテレビ及び通信放送設備など上級部隊関係各位のご理解ご協力を得てこれまでに比し充実しています。

第三の特徴として旧食厨の欠点であった排水が床を濡らしてしまう衛生

上の問題を有していたウエットタイプから、床を乾燥させた衛生的かつ節水できるドライシステムタイプへ施設・設備の整備が実施できました。

このような大変恵まれた勤務環境で給食業務を実施できることは我々糧食班勤務員にとっても大きな喜びです。

今後は、二十一年度実施予定の調理勤務員のアウトソーシング化や大村駐屯地との統一献立の試行実施など様々な給食業務の変革の過渡期への対応はもとより竹松駐屯地所在隊員及び外来部隊隊員に美味しく、栄養価の高い食事の提供に向け、我々勤務員は新旧設備・器材を活用駆使してこれまで以上に精進努力して行く所存です。

※読者の皆様の投稿をお待ちしております。

（九州防衛局報道官）



九州防衛局では、米軍の行為によって被害を受けた方々への損害賠償等の業務を行っています。

## 米軍の行為に係る損害賠償手続き

日本国に駐留している米軍人・軍属の行為（事件・事故）によって、国民の身体及び財産に被害を受けられた場合には、受けた損害について「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」第18条の規定に基づき、損害賠償等を請求することができます。

### 事件・事故発生

九州防衛局（支局、各防衛事務所）にご連絡下さい。

九州防衛局から損害賠償請求手続等の説明を受けて下さい。

### 九州防衛局等へ損害賠償請求の提出

(公務上)

地方防衛局が事故の調査・損害内容を審査して防衛省地方協力局に送付

日本国（防衛省地方協力局）と合衆国当局との協議

地方防衛局による賠償金額の決定・通知

賠償金額の同意・支払い

(公務外)

地方防衛局が事故の調査・損害内容を審査して報告書を作成し、地方協力局を経由して合衆国当局に送付

合衆国当局による審査

合衆国当局による補償金額の決定・通知

補償金額の同意・支払い

- 米軍等の行為が**公務上**の場合（地位協定第18条第5項）
  - ・被害を受けた損害額を**日本国政府**が支払います。
  - ・損害賠償金を請求できる期間は、事故が発生したときから3年間です。
- 米軍等の行為が**公務外**の場合（地位協定第18条第6項）
  - ・原則として、交通事故での保険解決のように直接加害者との間で示談解決することになりますが、**示談により解決が困難な場合**、加害者に代わって**合衆国政府**が補償金の額を決定して支払います。
  - ・補償金を請求できる期間は、事故が発生したときから**2年間**です。

※米軍人・軍属が運転する私有車両（Yナンバー等）との交通事故の場合は、相手が加入している任意自動車保険の保険会社名・保険番号などを確認して、保険会社等へお問い合わせ下さい。

問 い 合 わ せ 先	九州防衛局	業務課事故補償係	福岡市博多区博多駅東2-10-7	092-483-8821
	熊本防衛支局	業務課業務第一係	熊本市東町1-1-11	096-368-2172
	小倉防衛事務所	業務課業務係	北九州市小倉北区大手町13-26	093-561-2434
	佐世保防衛事務所	業務課業務第二係	佐世保市木場田町2-19	0956-23-3157
	別府防衛事務所	業務係	別府市大字別府3051-1	0977-21-0215
	宮崎防衛事務所	業務係	宮崎市中村東1-2-29	0985-54-1658

# 人事異動 (4月1日付)

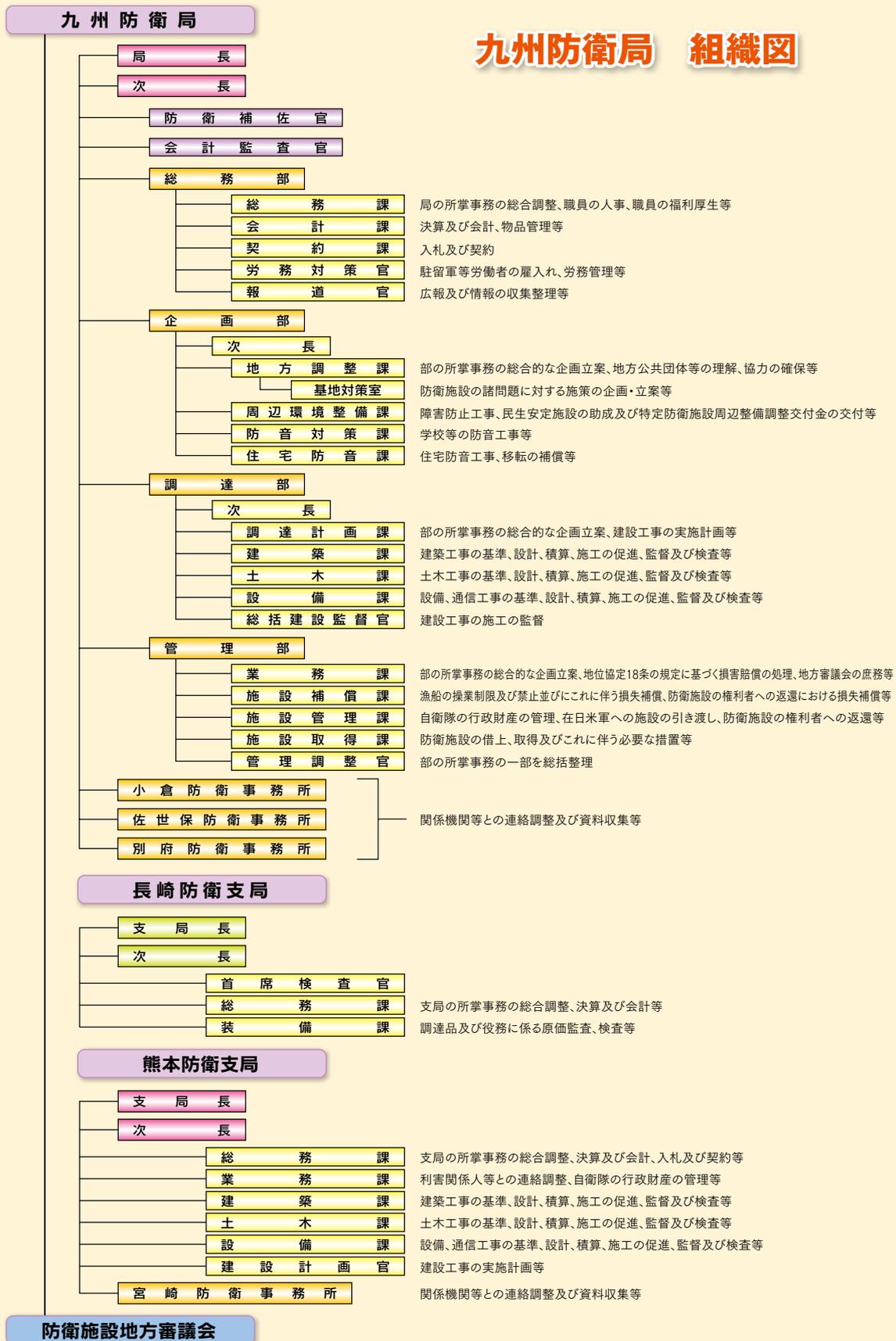
人事発令	氏名	前職
<b>○ 転出</b>		
中国四国防衛局総務部総務課長	梶 幸 治	長崎支局総務課長
東海防衛支局建設計画官	大 石 修	調達部建築課長
中国四国防衛局総務部契約課長	大 友 博	調達部設備課長
大臣官房企画評価課機構定員班部員	今 村 毅	熊本支局土木課長
沖縄防衛局調達部調達計画課課長補佐(総務、企画担当)	浦 正 一	調達部調達計画課課長補佐(計画調整担当)
中国四国防衛局調達部調達計画課課長補佐(計画調整第1・第2担当)	宇 野 誠	調達部設備課課長補佐(設備、通信担当)
中国四国防衛局調達部調達計画課工事調整専門官	池 田 宗 晴	調達部土木課建設監督官
北関東防衛局調達部設備課工事検査官	古 賀 力 也	調達部設備課建設監督官
北関東防衛局調達部設備課課長補佐(設備第4・第5担当)	中川原 優	調達部設備課建設監督官
装備施設本部需品課調達第4班調達専門官	平 賀 正 俊	長崎支局装備課主任原価監査官
沖縄防衛局調達部調達計画課工事調整専門官	宇 野 章	熊本支局土木課建設監督官
佐世保地方総監部管理部施設課施設計画専門官	檜 枝 明	企画部防音対策課防音第4係長
西部航空警戒管制団司令部監理部法務専門官	嵩 昭 典	企画部住宅防音課住宅防音第3係長
第5航空団司令部監理部基地対策専門官	池 田 勝 巳	管理部業務課総務係長
装備施設本部誘導武器課調達第1班調達専門官	福 谷 修 一	長崎支局総務課総務係長
沖縄防衛局調達部土木課土木第2係長	中 野 忠 則	調達部調達計画課計画調整第1係長
沖縄防衛局調達部設備課設備第5係長	城 間 純	調達部調達計画課計画調整第2係長
南関東防衛局調達部土木課土木第1係長	梶 川 美 緒	調達部土木課土木第1係長
東北防衛局調達部調達計画課計画調整第2係長	植 木 勝 也	調達部土木課土木第3係長
北海道防衛局調達部設備課設備第3係長	宮 本 和 明	調達部設備課通信係長
装備施設本部施設計画課取得・補償係長	大 形 一 也	熊本支局業務課行政財産管理第1係長
中国四国防衛局企画部防音対策課防音第2係長	小 林 重 光	企画部防音対策課
<b>○ 転入</b>		
会計監査官	伊 波 慎 一	大臣官房秘書課部員
佐世保事務所長	鶴 田 大 介	中国四国防衛局企画部地方調整課長
総務部契約課長	横 枕 義 幸	装備施設本部施設計画課施設契約室室長補佐
企画部周辺環境整備課長	田 中 修 一	地方協力局周辺環境整備課部員
企画部住宅防音課長	宮 崎 政 則	第1航空修理隊総務科長
調達部建築課長	櫻 井 淳	国土交通省大臣官房官庁庁繕部計画課官繕技術専門官
管理部業務課長	用 貝 良 一	地方協力局施設管理課部員
管理部施設取得課長	古賀原 覚	沖縄防衛局管理部施設取得第3課長
長崎支局総務課長	山 本 義 光	大臣官房訟務管理官付訟務班訟務専門官
熊本支局設備課長	中 野 晶 夫	防衛研究所総務課課長補佐
総務部契約課課長補佐(契約、契約審査担当)	上之園 攝 生	東北防衛局総務部会計課契約管理室室長補佐
調達部設備課課長補佐(設備、通信担当)	富 永 健	東北防衛局調達部設備課課長補佐(設備第1~第3担当)
熊本支局業務課課長補佐(行政財産管理、国有財産管理担当)	松 永 哲 夫	西部航空警戒管制団司令部監理部法務専門官
企画部地方調整課再編調整専門官	杉 崎 祐 一	第5航空団司令部監理部基地対策専門官
企画部地方調整課調査専門官	水 谷 文 秀	南関東防衛局企画部地方調整課調査専門官
調達部調達計画課工事調整専門官	廣 重 芳 雄	中国四国防衛局調達部調達計画課技術専門官
調達部建築課建設監督官	園 原 芳 録	東海防衛支局建築課建設監督官
調達部土木課建設監督官	松 尾 佳 昭	地方協力局提供施設課整備工事室整備工事第3係長
調達部設備課建設監督官	西 岡 弘 仁	北関東防衛局調達部設備課工事検査官
調達部設備課建設監督官	佐々木 康 悦	中国四国防衛局調達部設備課建設監督官
長崎支局装備課主任原価監査官	濱 口 知 泰	装備施設本部誘導武器課調達第3班調達専門官
小倉事務所業務課長	中 尾 博 理	佐世保地方総監部管理部施設課施設計画専門官
佐世保事務所首席労務対策調査専門官	市 原 弘 治	独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構那覇支部厚生課専門職
総務部会計課審査係長	井 上 敏 敏	独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部管理課総務経理係長
企画部地方調整課企画調整係長	佐 藤 寛 道	岩国防衛事務所業務課業務第2係長
企画部住宅防音課住宅防音第2係長	宿 里 祐 二	沖縄防衛局管理部施設取得第3課賃借契約第6係長
調達部調達計画課計画調整第2係長	石 原 健 司	中国四国防衛局調達部土木課土木第2係長
調達部土木課土木第1係長	竹 内 徹	東海防衛支局土木課土木第1係長
調達部土木課土木第3係長	竹 村 周 史	北海道防衛局調達部土木課
調達部設備課設備第3係長	佐 田 義 博	沖縄防衛局調達部設備課設備第5係長
管理部施設管理課行政財産管理第1係長	玉 井 正 人	東海防衛支局施設管理課管理第2係長
管理部施設管理課行政財産台帳第2係長	井 上 武 文	武山駐屯地業務隊
管理部施設取得課賃借契約第1係長	村 上 義 勝	中国四国防衛局総務部会計課管理係長
長崎支局総務課総務係長	菅 原 俊 明	防衛医科大学校予算係長
熊本支局総務課契約係長	前 川 和 之	大臣官房秘書課
熊本支局業務課業務第1係長	鎌 田 真 喜	中国四国防衛局管理部業務課事故補償係長
熊本支局業務課取得係長	世 利 幸 士	佐世保地方総監部管理部施設課課付主任
熊本支局業務課行政財産管理第1係長	真 島 幸 久	佐世保造修補給所
熊本支局土木課土木第2係長	和 田 直 也	南関東防衛局調達部土木課土木第1係長

## 九州防衛局主要職員名簿(課長相当官以上)

4月1日現在

職 名 (旧職名)	氏 名
局 長	原 田 実
次 長	多 田 孝基
防 衛 補 佐 官	緒 方 大 介 (自衛官)
会 計 監 査 官	伊 波 慎 一
総務部長	中 村 泰 孝
総務課長	村 石 一 成
会計課長	水野谷 賢 司
契約課長	横 枕 義 幸
労務対策官	廣 瀬 清 志
報道官	荒 木 民 主
企画部長	三 輪 恒 佳
次 長	花 田 誠
地方調整課長	柏 谷 篤 宣
基地対策室長	落 合 憲 次
周辺環境整備課長	田 中 修 一
防音対策課長	妹 尾 弘 志
住宅防音課長	宮 崎 政 則
調達部長	大 楽 幸 市
次 長	中 村 能 昭
調達計画課長	欠
建築課長	櫻 井 淳
土木課長	高 橋 和 徳
設備課長	崎 村 良 文
総括建設監督官	知 識 眞
管理部長	横 山 博 幸
業務課長	用 貝 良 一
施設補償課長	江 藤 公 智
施設管理課長	下 川 幹 雄
施設取得課長	古賀原 覚
管理調整官	小 野 修 一
小倉事務所長	三 浦 正 典
佐世保事務所長	鶴 田 大 介
次 長	田 中 丈 一
別府事務所長	菅 原 善 昭
長崎支局長	多 田 秀 高
次 長	大 野 慶 二 (自衛官)
首席検査官	後 藤 万寿夫 (自衛官)
総務課長	山 本 義 光
装備課長	藤 山 謙 司 (自衛官)
熊本支局長	鈴 村 利 弘
次 長	谷 口 英 二
総務課長	草 積 一 夫
業務課長	垣 田 豊 吉
建築課長	中 村 純 男
土木課長	穆 佐 昇
設備課長	中 野 晶 夫
建設計画官	垣 田 頼 成
宮崎事務所長	後 藤 尊 利

# 九州防衛局 組織図



### \*\*\* 地方防衛局だより \*\*\*

**【当直室】**九州防衛局は、休日・深夜を問わず、不測の事態に対応するため、当直制度を導入しています。  
 電話 (092)483-8832 FAX (092)472-1959  
 平日は 17:30 から翌日 08:30 まで、休日は終日。 夜間・休日に2名の職員を配置。